



新狭山小の「緑と花いっぱい運動」

11月4日(水)、新狭山小学校の3年生77名が、地域のボランティア44名の支援のもと、三ツ木公園と新狭山駅南口通りにパンジーの花を植え、清掃活動を行いました。



児童たちは公園に遊びに来たときに、備え付けのジョウロで花に水をやり、地域の一員として大切に花を育てていきます。

笹井小で「笹井ダムクリーン作戦」を実施

11月17日(火)、笹井小学校の4年生45名が入間川笹井ダム周辺をきれいにしました。



秋の大雨の影響で流れ着いたたくさんのごみや流木などで、持っていたごみ袋はあっという間に満杯に。集めたごみを相談しながら「もやすごみ」や「プラスチック」などにきちんと分別した児童たちは、地域をきれいにする心と、物を大切に使い、ごみを出さない意識も養いました。

人間国宝から学ぶ「狂言の世界」

6年生の国語の教科書にも載っている「狂言 柿山伏」。その筆者で、市内在住の人間国宝・山本東次郎さんの特別授業が、11月24日(火)に狭山台小学校で行われました。6年生108名は、狂言「柿山伏」を鑑賞し、「『狂言』のセリフは『点』、それを線としてつないでいくのは観客の皆さん」と直接解説してもらい、古典芸能に込められた日本人の心を学びました。



一本の綱に心を合わせて

11月15日(日)／狭山市綱引大会(市民総合体育館)

93チーム、1,100名の選手が参加。息を合わせ、各チームが力を込めて綱を引く姿に応援団も思わず力が入り、会場内には歓声が響き渡りました。



成年後見制度を分りやすく伝える

11月21日(土)／落語「後見爺さん」に学ぶ(中央公民館)



成年後見制度がテーマの新作落語「後見爺さん」。54名の参加者は、桂ひな太郎師匠の落語をとおして、どのようなときに制度が必要になるかが分かりました。

26年度さやま市民大学ジャーナル学科修了生がお届けします

さやま・レポート(子育て◎)



「おはようございまあ〜す!」「今日もみんな仲良く遊ぼうね」と先生たちの元気なあいさつから「子育てプレイス奥富」の一日は始まります。

この施設は、豊かな自然に恵まれた奥富ふれあい館の2階にあり、0〜3歳の子どもと家族が利用することができます。陽が差し込む室内には、遊具や絵本がいっぱい。子ども達は自由に遊び、その横で、ママ達は会話を弾ませています。お弁当持参で、みんなで楽しいランチタイムも。また、子育てに役立つ情報が満載の情報紙「花いっぱい」も毎月発行しています。

▶子育てプレイス奥富(下奥富1100) ☎2952-6801 開館時間は、日・月・水・木・金曜日の10時〜16時30分 駐車台数29台

秋の深まりを感じ、狭山の魅力を発見

11月22日(日)／狭山 茶の里ウオーキング(市内)

新狭山の中原公園を出発。いるまがわ大橋を渡り、入間川の河川敷を歩いて狭山市駅西口までの8kmのコースに1,300名が参加。コース途中のボランティアの道案内や休憩所での市民団体の模擬店など、笑顔とふれあいに満ちた一日となりました。



入間川のせせらぎをBGMに足取りも軽く



ゴールでは子ども達や「おりぴい」がお出迎え

地域の行事を体験し、伝えていく

11月10日(火)／十日夜(柏原保育所)

「十日夜」は、旧暦の10月10日の夜のことで、昔は市内の各地区で行われていた年中行事です。地域の人たちに行事の意味を教してもらいながら、わらを縄で束ねた「わら鉄砲」を作った園児たち。力強く地面を叩いて、農作物を荒らすモグラたちを追い払いました。



♪と〜かんや、と〜かんや〜♪



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

消防団は地域の守りの「要」です

11月28日(土)／消防団の特別点検(柏原河川敷公園)

冬に向かって空気が乾燥し、火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団が行った特別点検。市長が点検者となり、市内にある7つの各分団の機材や服装などを点検し、消防操法や放水などの訓練と成果を確認しました。



厳しいチェックに身が引き締まります

全国でたった57頭しかいません

11月28日(土)／セミナー「広瀬公民館に聴導犬がやって来る」

盲導犬と比べて、圧倒的に登録数が少ない聴導犬。聴覚に障害のある方に寄り添い、生活をサポートしています。実際に聴導犬が生活の中で担っている役割を知った参加者は、聴導犬への理解を深め、自分たちにできる支援があることに気づかされました。



目覚まし時計の音で、主人を起こす聴導犬